

0 総説

本書の見方	0-2
修理作業の説明範囲	0-2
説明内容の見方	0-2
用語の定義	0-3
車種構成一覧表	0-4

0

本書の見方

修理作業の説明範囲

修理作業は大別すると「診断」、「脱着、交換、分解・組み付けおよび点検・調整作業」および「完成検査」の3工程に区分することができます。本書は第2工程の「脱着、交換、分解・組み付けおよび点検・調整作業」について説明したものであり、第1工程の「診断」（本文中 電装品関係のトラブル シューテイングは掲載してあります。）および第3工程の「完成検査」については説明が省略してあります。

説明内容の見方

1 注意事項

- (1) 該当するセクション独自の注意事項について記載しました。

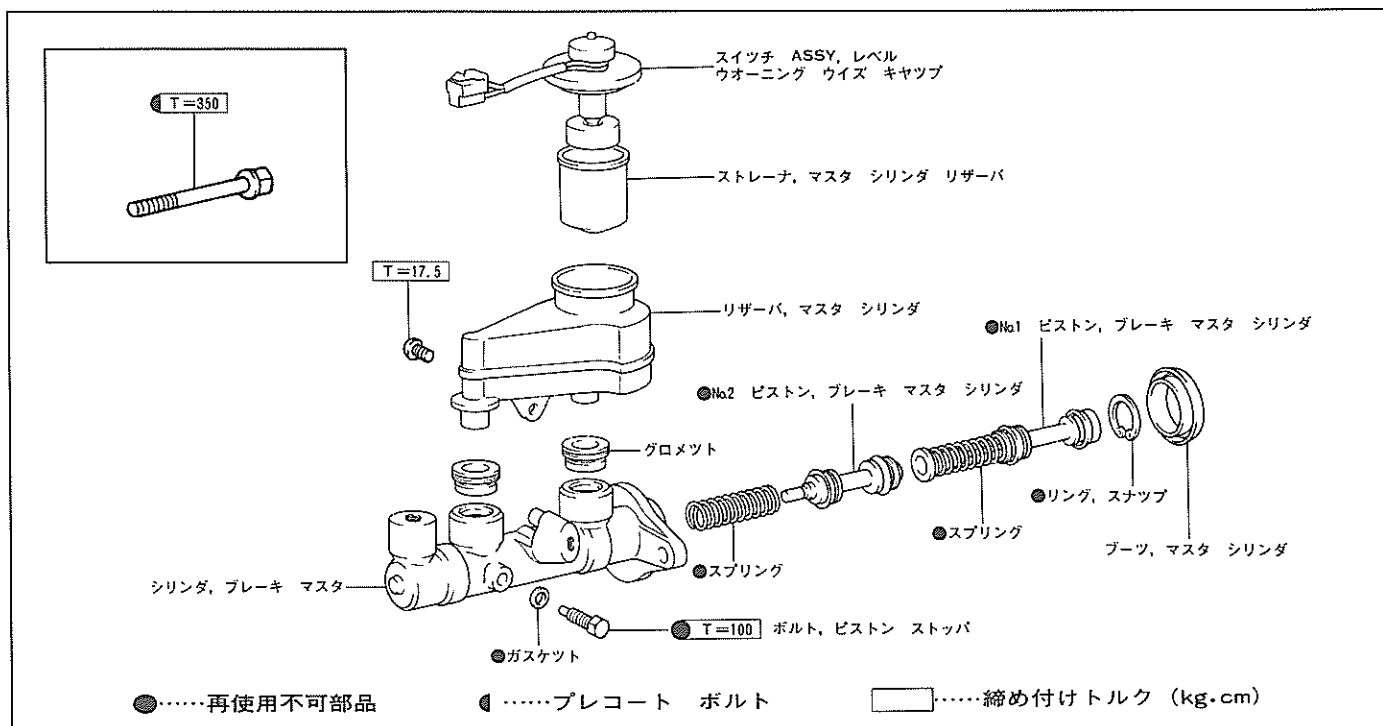
2 準備品

- (1) 作業前に準備すべきSST、工具、計器および油脂などについて掲載し、あわせて各々の使用目的について説明してあります。ただし、準備品のうち、トヨタ メカニク スタンド、ジャッキ、スタンドなど一般整備工場に常備されていると思われる準備品については掲載を省略してあります。

3 作業手順

- (1) 各セクションのはじめに構成図、断面図を掲載し、構成部品の取り付け状態が把握できるようにしました。
- (2) 構成図の中に再使用不可部品、プレコート ボルト、締め付けトルクを明記しました。

記 載 例



- (3) イラストにて、作業部位および作業内容を掲載しました。
- (4) 説明文では、細部にわたる作業方法、情報、規格および注意などを掲載しました。



イラスト：作業部位および作業内容

ホースとチューブの脱着 ← 小タイトル

Ⅰ ホースとチューブ接続 ← 作業項目

(1) ホースとチューブを手で仮付けする。

(2) ホース側をスパナで、チューブ側をSSTでそれぞれ固定してホースとチューブを締め付ける。 ← 説明文：
細部にわたる作業方法

S S T 09751-36011 ← 情報

T=155kg・cm ← 規格

4 本書に省略されている内容

- (1) 本書には次の要素作業の記載が省略してありますが実作業においては実施してください。
 - ① ジャッキ作業およびリフト作業
 - ② 必要に応じて行う取りはずし部品の清掃、洗浄
 - ③ 目視による点検

用語の定義

- 基準値……………点検、調整時の許容範囲を表す値をいいます。
- 限 度……………点検、調整時に超えてはならない最高値または最低値を表す値をいいます。
- 参考値……………基準値を知るための測定方法がいちじるしく困難なため実際上不具合発生のおそれのない場合の簡略測定法における基準値を表します。
- 注意**……………禁止作業など、行つてはいけないことについて掲載してあります。
また作業要領で特に注意すべき事項を掲載してあります。
- 〈参考〉……………作業を容易にするための補足説明を説明文から分離させて掲載してあります。

車種構成一覧表

ボデー形状	エンジン型式	車両型式	マニュアル	トランスミッション型式	オートマチック	トランスミッション型式
				W57		A42DL
ワゴン	1G-EU	E-GX70G		XWMMK		XWPMK